

平成24年度共同研究の概要（成果報告書抜粋）

研究種目： 一般研究

研究代表者： 三上 正男（気象研究所環境・応用気象研究部・部長）

研究分担者： 石塚正秀（香川大学工学部・准教授）、山田 豊（理化学研究所先端工作支援チーム・特別嘱託職員）

研究題目（和文）：

北東アジア半乾燥地帯における黄砂発生メカニズムの機構解明に関する観測的研究

研究概要（和文）：

気象干ばつに対して黄砂発生の感度が高いと考えられる半乾燥地域（モンゴルバヤンウンジュールを想定）において、黄砂発生プロセス、とりわけ植生、土壌水分等の地表面条件と、風速等の気象条件並びに飛砂（直径数十～数百 μm ）および黄砂（直径数 μm ）の発生量との関係を明らかにするため、モンゴル国ツォクトボーにおいて平成24年春季に地表面条件・気象条件・黄砂と飛砂の飛散量をモニタリングする観測システムを設置し、試験観測を行った。また、従来精密な測定が困難であった、黄砂の鉛直フラックス（発生量）を評価するバンドバス法について検討を行い、平成25年度の観測に向けたシステムの補強を行った。